

(株)大分ボール種苗センター 竹友直樹農場長

(株)大分ボール種苗センターは、大分県、全農おおいた、M & Bフローラとの合併会社です。設立されてから今年で20年を迎えました。昨年、これまであった飯田農場に湯坪農場を加え、生産面積を拡大しました。大分ボールはM & Bフローラの4カ所ある生産農場の1つであり、飯田農場では年間を通して花苗、野菜苗のプラグ苗の生産を行っています。

全国の生産者へ環境に優しい花苗を

大分市内から車で1時間の場所に位置する、九重町の飯田高原（標高900m）に生産農場はあり、高冷地という地の利を生かした栽培方法で、プラグ苗（幼苗）を中心に生産し、全国の生産者の皆様へ商品をお届けしています。栽培している作物は、トルコギキョウ、パンジー、ビオラを中心にペチュニア、プリムラ、トレニア、ヘゴニア、ビンカ等々100種類以上あります。また栄養系作物の母株管理からプラグ生産まで一貫した管理も行っており、飯田農場、湯坪農場共にM&Bフローラの栄養系生産を担っています。

これからの時季は秋苗を中心に出荷します。一押しの作目は成苗率が高く、高温環境下でもよく分枝し、充実した株ができるパンジーマトリックスシリーズ、ソルベXPシリーズです。



パンジーマトリックスシリーズ



飯田農場社員の皆さま

飯田農場は社員5名パート22名。春花壇プラグ苗はピンカ4000トレイ、ベゴニア3300トレイ、ペチュニア1500トレイを出荷します。

秋花壇プラグ苗は、パンジー、ビオラ15000トレイを出荷します。出荷のピークは8-9月です。野菜苗は4月にトマトポット苗を約6万本生産しています。



湯坪農場の皆さま

湯坪農場は社員2名パート12名。カスミソウを年間を通じて約9000トレイを生産しています。出荷ピークは8-9月です。

環境に配慮した花生産を目指す

これまでの悩みは何と言っても冬期の燃料代でした。冬期は平均外気温がマイナス2℃という状況で、高温系植物の為にハウス内設定温度を20℃にしていることもあり、重油を大量に消費せざるを得なかったからです。その点、昨年から使用している湯坪農場は、川上にある発電所から供給される温湯を利用して温度を得ているため、飯田農場に比べて燃料使用量は大幅に軽減されることになりました。

我々の目標はあくまでも環境にやさしい花苗栽培です。地球環境に配慮しながら企業活動を行うことは既に世界的な流れであります。環境に配慮した花生産を目指すことは未来の地球を守ると共に次世代の人類の為と思えます。

最後になりますが、これからもMPS（明日の地球のために）の輪が広がるよう切に願います。